

2022年9月期 第3四半期決算短信〔 I F R S 〕（連結）

2022年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 GMOペイメントゲートウェイ株式会社

コード番号 3769

URL <https://www.gmo-pg.com/corp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 相浦 一成

問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 村松 竜（TEL）03-3464-0182

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年9月期第3四半期の連結業績（2021年10月1日～2022年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	36,956	21.0	12,788	25.1	30,500	189.8	21,298	201.2	21,129	204.6	31,606	296.0
2021年9月期第3四半期	30,535	26.6	10,222	31.4	10,526	25.1	7,070	21.7	6,937	20.6	7,982	29.6
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2022年9月期第3四半期	278.60				275.19							
2021年9月期第3四半期	93.27				91.58							

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年9月期第3四半期	265,435	84,930	82,841	31.2
2021年9月期	215,455	57,820	55,845	25.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	0.00	0.00	0.00	59.00	59.00
2022年9月期	0.00	0.00	0.00		
2022年9月期(予想)				66.00	66.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	50,000	20.0	16,234	25.0	31,538	137.4	21,048	134.3	20,860	136.5
										275.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2022年9月期3Q	76,557,545株	2021年9月期	76,557,545株
2022年9月期3Q	714,996株	2021年9月期	714,996株
2022年9月期3Q	75,842,549株	2021年9月期3Q	74,382,106株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託及び株式給付信託 (J-ESOP) の所有する当社株式が含まれております (2021年9月期709,705株、2022年9月期3Q709,705株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
2. 当社は、2022年8月10日にアナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 継続企業の前提に関する注記	15
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
① 現金及び現金同等物	15
② 営業債権及びその他の債権	15
③ 関係会社預け金	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

① 連結経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2021年10月1日～2022年6月30日）の業績は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	増減率 (%)
売上収益	30,535,072	36,956,780	21.0
営業利益	10,222,260	12,788,081	25.1
税引前四半期利益	10,526,081	30,500,544	189.8
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	6,937,696	21,129,578	204.6

a. 売上収益

売上収益は36,956,780千円（前年同期比21.0%増）となりました。オンライン課金分野・継続課金分野におけるEC市場の順調な成長に加え、対面分野においても当社グループのサービス提供を拡大したことにより、決済代行事業が増収となりました。金融関連事業は、後払い型の決済サービス「GM0後払い」の取扱高が引き続き伸長したことに加え、早期入金サービス及び海外FinTech事業者に向けたレンディングサービスの拡大により増収となりました。オンライン課金分野、継続課金分野、対面分野と「GM0後払い」合計の決済処理件数は前年同期比37.4%増、決済処理金額は前年同期比40.2%増となり、決済代行事業の売上収益は27,846,597千円（前年同期比24.0%増）、金融関連事業の売上収益は8,414,516千円（前年同期比11.3%増）、決済活性化事業の売上収益は716,867千円（前年同期比34.8%増）となりました。詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 ②セグメントの業績状況」に記載しております。

品目別売上収益は、以下のとおりです。

(単位：千円)

品目別	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	増減率 (%)
イニシャル (イニシャル売上)	3,560,338	5,329,724	49.7
ストック (固定費売上)	4,850,707	5,836,563	20.3
フィー (処理料売上)	7,942,720	9,823,863	23.7
スプレッド (加盟店売上)	14,181,305	15,966,628	12.6
合計	30,535,072	36,956,780	21.0

b. 営業利益

営業利益は12,788,081千円（前年同期比25.1%増）となり、当連結会計年度の業績予想に対して順調に進捗しております。

決済代行事業のセグメント利益（営業利益）は13,524,683千円（前年同期比22.4%増）となり、金融関連事業のセグメント利益（営業利益）は2,061,007千円（前年同期比22.0%増）、決済活性化事業のセグメント利益（営業利益）は170,633千円（前年同期比96.2%増）となりました。詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明 ②セグメントの業績状況」に記載しております。

c. 税引前四半期利益

税引前四半期利益は30,500,544千円（前年同期比189.8%増）となり、当第3四半期連結累計期間の営業利益が前年同期比25.1%増だったのに対し、税引前四半期利益は前年同期比189.8%増となりました。これは主に為替差益769,288千円、投資事業組合運用益426,077千円により金融収益が1,278,938千円、持分法適用関連会社であった2C2P Pte. Ltd. の全株式を譲渡したことにより持分法による投資の売却益16,419,272千円が計上されたことによるものです。

② セグメントの業績状況

セグメントの業績は、以下のとおりです。

（単位：千円）

セグメント別	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年10月1日 至 2021年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年10月1日 至 2022年6月30日）	増減率（%）
決済代行事業 売上収益 セグメント損益（△は損失）	22,454,331 11,046,570	27,846,597 13,524,683	24.0 22.4
金融関連事業 売上収益 セグメント損益（△は損失）	7,558,425 1,689,120	8,414,516 2,061,007	11.3 22.0
決済活性化事業 売上収益 セグメント損益（△は損失）	531,926 86,982	716,867 170,633	34.8 96.2
調整額 売上収益 セグメント損益（△は損失）	△9,610 △2,600,412	△21,200 △2,968,242	— —
合計 売上収益 セグメント損益（△は損失）	30,535,072 10,222,260	36,956,780 12,788,081	21.0 25.1

a. 決済代行業業

決済代行業業については、主にオンライン課金分野・継続課金分野と対面分野における決済代行サービス、金融機関・金融サービス事業者等に向けた支援サービスの拡大に取り組んでおります。オンライン課金分野・継続課金分野においては、EC市場の順調な成長のもと、大手から中小規模まであらゆる業態の加盟店開拓やEC以外の幅広い事業者における当社グループのサービス利用の拡大に注力いたしました。

当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響は、前連結会計年度に引き続き限定的にとどまりました。オンライン課金分野・継続課金分野においては、第2四半期連結累計期間に発令されたまん延防止等重点処置の解除による巣籠消費需要の反動により、一部の物販における成長率は低下したものの、移動を伴う外出は増加したことから旅行やチケットの決済は伸長いたしました。また、EC市場及びキャッシュレス決済の拡大により少額決済が増加し、巣籠消費におけるインターネット利用の定着に伴い、日用品、デジタルコンテンツや公金・公共料金等のオンライン決済も増加しております。

当第3四半期連結累計期間における対面分野は、第2四半期連結累計期間に発令されたまん延防止等重点処置の解除により、影響を受けていた飲食店を中心とした一部の加盟店の取扱件数・金額が回復しました。さらに、現金を媒体としない安心な支払い手段として対面キャッシュレス決済市場の拡大が進んだことに伴い端末販売が好調に推移したことに加え、前連結会計年度に引き続き、次世代決済プラットフォーム「stera」端末の販売台数も増加したことが、イニシャル売上と当セグメントの決済処理件数・金額の拡大に繋がり、収益貢献いたしました。また、注力市場である自動精算機や券売機等の無人決済市場（Unattended Market）での案件の受注も順調に推移しております。

さらに、金融機関・金融サービス事業者等に向けたサービスでは、プロセッシングプラットフォームサービスの拡大により、成長が加速しております。

以上の結果、売上収益は27,846,597千円（前年同期比24.0%増）、セグメント利益（営業利益）は13,524,683千円（前年同期比22.4%増）となりました。

b. 金融関連事業

金融関連事業（マネーサービスビジネス：MSB）については、加盟店のニーズに応える入金サイクルを設定し、キャッシュ・フロー改善に資する早期入金サービスや、決済データ等を活用して成長資金を提供する加盟店向け融資サービスであるトランザクションレンディング、海外FinTech事業者に向けたレンディングサービス、送金サービス、給与即時受け取りサービスの「即給 byGM0」のほか、連結子会社であるGM0ペイメントサービス株式会社を通じて「GM0後払い」を提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、早期入金サービスが決済代行業業の拡大に伴い好調に推移し、海外FinTech事業者に向けたレンディングサービスにおいても、今後安定的な収益が見込める新たな融資先の開拓が進捗する等、売上収益とセグメント利益の増加に貢献しました。また送金サービスは、売上収益の成長率は低下したものの取扱件数は伸長し、決済サービスである「GM0後払い」は、前年同期における巣籠消費需要の反動を受けました。

以上の結果、売上収益は8,414,516千円（前年同期比11.3%増）となり、セグメント利益（営業利益）は2,061,007千円（前年同期比22.0%増）となりました。

c. 決済活性化事業

決済活性化事業については、商品の売れ行きを確認しながら広告運用や分析を行い当社グループ加盟店の売上向上に繋げるマーケティング支援サービスや、連結子会社であるGM0医療予約技術研究所株式会社を通じて医療受付現場の業務効率化に繋がる医療特化型予約管理システム「メディカル革命 byGM0」等を提供しております。

GM0医療予約技術研究所株式会社は、予約・問診票記入・受付・決済といった行為をスマホアプリから行えるほか、導入している複数の医療機関の診察券をスマートフォン1つに集約することができるサービスを提供しており、当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度に引き続き新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大による需要の高まり等から売上収益が前年同期比93.4%増となりました。また、マーケティング支援サービス及びSSLクーポンも伸長し、当セグメントの成長に貢献いたしました。

以上の結果、売上収益は716,867千円(前年同期比34.8%増)となり、セグメント利益(営業利益)は170,633千円(前年同期比96.2%増)となりました。

各セグメントにおいて提供する主なサービス及び会社は、以下のとおりです。

セグメント	提供する主なサービス	主な会社
決済代行業業	決済代行サービス (オンライン課金・継続課金)	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社(連結子会社)
	決済代行サービス (対面)	GM0フィナンシャルゲート株式会社(連結子会社)
金融関連事業	GM0後払い	GM0ペイメントサービス株式会社(連結子会社)
	送金サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社(連結子会社)
	トランザクションレンディング	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社(連結子会社)
	海外レンディング	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社
	早期入金サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社(連結子会社)
決済活性化事業	マーケティング支援サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社
	メディカル革命 byGM0	GM0医療予約技術研究所株式会社(連結子会社)

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の概況

a. 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ49,979,358千円増加し、265,435,251千円となりました。これは主に現金及び現金同等物12,642,302千円、前渡金5,043,471千円、未収入金5,937,089千円、関係会社預け金14,500,000千円、その他の金融資産4,783,231千円、持分法で会計処理されている投資5,220,374千円増加したことによるものです。

「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 ① 現金及び現金同等物」に記載したとおり、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物には関係会社預け金が4,880,000千円含まれており、要約四半期連結財政状態計算書上の関係会社預け金16,500,000千円と合わせると、関係会社預け金の残高は21,380,000千円となっております。これはGM0インターネットグループがグループ全体で資金運用を行うために導入しているキャッシュマネジメントシステム（以下、「CMS」という。）を利用し、手元資金を預け入れたものです。そのため、当社グループにおいて事業の進捗に伴って資金需要が増大した際には、CMSの返済期日が到来していなくても、所定の日数より前に申請することで、随時資金を引き出すことが可能です。

b. 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ22,869,737千円増加し、180,505,250千円となりました。これは主に未払金3,826,881千円、預り金8,152,436千円、借入金6,141,485千円、繰延税金負債4,945,080千円増加したことによるものです。

c. 資本

当第3四半期連結会計期間末における資本の残高は、前連結会計年度末に比べ27,109,620千円増加し、84,930,000千円となりました。これは主に剰余金の配当4,474,710千円により減少した一方、四半期利益21,298,999千円の計上の他、主に持分法適用関連会社が保有する金融商品の公正価値測定及び在外営業活動体の換算差額等によりその他の包括利益10,307,362千円を計上し増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、期首残高に比べ12,642,302千円増加し、117,166,267千円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは以下のとおりです。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は8,591,735千円（前年同期は9,050,713千円の使用）となりました。これは主に投資活動への調整項目である持分法による投資の売却益16,419,272千円、前渡金の増加5,043,471千円、未収入金の増加5,540,797千円、法人所得税の支払額5,210,966千円が発生したものの、税引前四半期利益30,500,544千円、未払金の増加3,522,920千円、預り金の増加8,146,355千円により資金が増加したものです。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は1,776,315千円（前年同期は2,696,297千円の獲得）となりました。これは主に拘束性預金の預入による支出5,282,800千円、関係会社預け金の預入による支出16,500,000千円が発生したものの、投資有価証券の売却による収入24,360,517千円により資金が増加したものです。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は1,087,798千円（前年同期は16,155,221千円の獲得）となりました。これは主に配当金の支払額4,471,420千円が発生したものの、短期借入金の純増加額6,300,000千円により資金が増加したものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの事業が主として立脚する電子商取引（EC）市場は、スマートフォンの利便性の高まりや物流の改革等外部環境の変化による物販の消費者向け（BtoC）ECの利用拡大を受け高成長を継続しております。また、物販以外のサービス領域や、公共料金・税金等の公金、医療等の生活に密着した分野等における決済のオンライン化も着実に進行しており、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴う新たな生活様式に関わるオンライン消費の浸透も見られております。加えて、企業間取引（BtoB）のEC化や個人間取引（CtoC）のEC化等、ECの領域自体も拡大しております。また、連結子会社であるGMOフィナンシャルゲート株式会社が立脚する対面市場においては、クレジットカード及びそれ以外の手段も含めた決済のキャッシュレス化加速の機運も高まっており、新たなビジネスチャンスが生まれると共に、当社グループの事業領域もますます拡大する見込みとなっております。

2022年9月期の事業環境については、ワクチン接種等の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対策が進み、人々の行動制限が緩和されつつある一方で、世界的に金融引締めが進む中での金融資本市場の変動に加え、原材料価格の上昇や円安の影響により、民間消費全般の見通しは依然として不透明感が残っております。しかしながら、当社グループの事業自体は様々な業種の加盟店にサービスを提供しておりマクロ経済の影響を受けにくい特徴があることに加え、決済のオンライン化、キャッシュレス化の流れが後押しされる状況にあることや、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進することでビジネスモデルの転換やコスト削減を実現しようとする企業ニーズを捉えた事業が拡大していることから、当社グループの売上収益に対する影響は現時点では軽微と判断しております。加えて、大手及び成長性のある加盟店や金融機関等の開拓、大型案件の獲得のほか、DXプラットフォームや次世代決済プラットフォーム「stera」等重点施策の収益拡大により、全てのセグメントにおいて売上収益の拡大を見込んでおります。

なお当社は、2022年4月18日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるGMO-Z.COM PAYMENT GATEWAY PTE. LTD. が保有する持分法適用関連会社である2C2P Pte. Ltd. の全株式を譲渡することを決議し、同日開示した「持分法適用関連会社の異動（株式譲渡）及び株式売却益の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、2021年11月11日に公表した通期連結業績予想を修正しております。本株式譲渡に伴い、2022年9月期 第3四半期連結決算において持分法による投資の売却益16,419百万円を計上いたしました。修正後の2022年9月期通期連結業績予想は売上収益50,000百万円（前年同期比20.0%増）、営業利益16,234百万円（前年同期比25.0%増）、税引前利益31,538百万円（前年同期比137.4%増）、当期利益21,048百万円（前年同期比134.3%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益20,860百万円（前年同期比136.5%増）を見込んでおります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	①	104,523,965	117,166,267
営業債権及びその他の債権	②	10,308,474	12,794,597
前渡金		45,321,043	50,364,515
未収入金		24,893,665	30,830,755
棚卸資産		1,664,548	1,549,209
関係会社預け金	③	2,000,000	16,500,000
その他の金融資産		455,403	6,006,407
その他の流動資産		335,983	533,834
流動資産合計		189,503,084	235,745,586
非流動資産			
有形固定資産		3,948,522	3,594,892
のれん及び無形資産		5,521,782	6,474,650
持分法で会計処理されている投資		4,593,784	9,814,158
営業債権及びその他の債権	②	4,231,100	3,386,455
その他の金融資産		6,005,805	5,238,034
繰延税金資産		1,529,043	1,048,979
その他の非流動資産		122,769	132,492
非流動資産合計		25,952,808	29,689,664
資産合計		215,455,892	265,435,251

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
買掛金		5,230,945	5,125,209
未払金		20,537,297	24,364,179
預り金		84,593,904	92,746,340
借入金		15,138,420	21,300,000
その他の金融負債		621,363	612,062
未払法人所得税等		2,602,652	3,842,531
引当金		327,157	320,230
その他の流動負債		3,662,794	2,780,744
流動負債合計		132,714,534	151,091,299
非流動負債			
社債		19,593,627	19,657,209
借入金		20,095	—
その他の金融負債		2,889,479	2,441,827
引当金		130,180	130,432
繰延税金負債		78,148	5,023,228
その他の非流動負債		2,209,447	2,161,252
非流動負債合計		24,920,978	29,413,950
負債合計		157,635,512	180,505,250
資本			
資本金		13,323,135	13,323,135
資本剰余金		15,191,927	15,234,175
利益剰余金		26,546,151	46,434,344
自己株式		△1,152,444	△1,153,163
その他の資本の構成要素		1,937,175	9,003,482
親会社の所有者に帰属する持分合計		55,845,946	82,841,974
非支配持分		1,974,433	2,088,026
資本合計		57,820,379	84,930,000
負債及び資本合計		215,455,892	265,435,251

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
売上収益		30,535,072	36,956,780
(うち、金利収益※)		6,189,736	6,834,040
売上原価		△9,586,807	△12,175,610
売上総利益		20,948,264	24,781,170
その他の収益		165,685	192,582
販売費及び一般管理費		△10,862,189	△12,144,137
その他の費用		△29,499	△41,532
営業利益		10,222,260	12,788,081
金融収益		377,986	1,278,938
金融費用		△146,510	△169,601
持分法による投資利益		72,344	183,852
持分法による投資の売却益		—	16,419,272
税引前四半期利益		10,526,081	30,500,544
法人所得税費用		△3,455,765	△9,201,545
四半期利益		7,070,315	21,298,999
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		6,937,696	21,129,578
非支配持分		132,618	169,420
四半期利益		7,070,315	21,298,999
1株当たり四半期利益 (円)			
基本的1株当たり四半期利益		93.27	278.60
希薄化後1株当たり四半期利益		91.58	275.19

(※) IFRS第9号「金融商品」に基づいて、実効金利法により測定した金利収益を表示しております。

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	7,070,315	21,298,999
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	46,904	643,729
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	537,686	5,475,394
純損益に振り替えられることのない 項目合計	584,591	6,119,124
純損益に振り替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	247,787	4,374,272
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	79,571	△186,034
純損益に振り替えられることのある 項目合計	327,358	4,188,238
税引後その他の包括利益	911,949	10,307,362
四半期包括利益	7,982,265	31,606,361
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	7,848,763	31,429,608
非支配持分	133,502	176,753
合計	7,982,265	31,606,361

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2020年10月1日時点の残高	4,712,900	5,675,561	20,725,465	△1,149,341	1,769,560	31,734,145	1,719,369	33,453,515
四半期利益	—	—	6,937,696	—	—	6,937,696	132,618	7,070,315
その他の包括利益	—	—	—	—	911,066	911,066	883	911,949
四半期包括利益	—	—	6,937,696	—	911,066	7,848,763	133,502	7,982,265
自己株式の取得	—	—	—	△2,454	—	△2,454	—	△2,454
配当金	—	—	△3,826,483	—	—	△3,826,483	—	△3,826,483
非支配株主への配当金	—	—	—	—	—	—	△63,671	△63,671
転換社債型新株予約権付社債 の発行	—	1,006,926	—	—	—	1,006,926	—	1,006,926
転換社債型新株予約権付社債 の転換	8,610,235	8,430,623	—	—	—	17,040,858	—	17,040,858
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	428,809	—	△428,809	—	—	—
株式報酬取引	—	77,669	—	—	△39	77,629	—	77,629
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△26,969	—	—	—	△26,969	129,142	102,173
関連会社の支配継続子会社 に対する持分変動	—	12,893	—	—	—	12,893	—	12,893
所有者との取引額合計	8,610,235	9,501,143	△3,397,673	△2,454	△428,849	14,282,401	65,471	14,347,872
2021年6月30日時点の残高	13,323,135	15,176,704	24,265,489	△1,151,796	2,251,776	53,865,309	1,918,343	55,783,653

当第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2021年10月1日時点の残高	13,323,135	15,191,927	26,546,151	△1,152,444	1,937,175	55,845,946	1,974,433	57,820,379
四半期利益	—	—	21,129,578	—	—	21,129,578	169,420	21,298,999
その他の包括利益	—	—	—	—	10,300,030	10,300,030	7,332	10,307,362
四半期包括利益	—	—	21,129,578	—	10,300,030	31,429,608	176,753	31,606,361
配当金	—	—	△4,474,710	—	—	△4,474,710	—	△4,474,710
非支配株主への配当金	—	—	—	—	—	—	△89,232	△89,232
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	3,233,324	—	△3,233,324	—	—	—
株式報酬取引	—	91,350	—	—	△399	90,951	—	90,951
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△49,103	—	—	—	△49,103	26,072	△23,030
その他の増減	—	—	—	△718	—	△718	—	△718
所有者との取引額合計	—	42,247	△1,241,385	△718	△3,233,723	△4,433,581	△63,160	△4,496,741
2022年6月30日時点の残高	13,323,135	15,234,175	46,434,344	△1,153,163	9,003,482	82,841,974	2,088,026	84,930,000

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	10,526,081	30,500,544
減価償却費及び償却費	1,387,859	1,571,024
金融収益及び金融費用(△は益)	△231,476	△1,109,337
持分法による投資損益(△は益)	△72,344	△183,852
持分法による投資の売却益	—	△16,419,272
棚卸資産の増減額(△は増加)	332,434	115,338
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	△233,425	△714,062
前渡金の増減(△は増加)	△12,261,272	△5,043,471
未収入金の増減(△は増加)	△1,292,995	△5,540,797
買掛金の増減(△は減少)	189,890	△107,745
未払金の増減(△は減少)	1,120,577	3,522,920
預り金の増減(△は減少)	△3,750,323	8,146,355
その他の流動負債の増減(△は減少)	△238,224	△856,124
その他	187,035	△81,006
小計	△4,336,183	13,800,514
利息及び配当金の受取額	17,547	70,997
利息の支払額	△101,009	△68,811
法人所得税の支払額	△4,631,067	△5,210,966
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,050,713	8,591,735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
拘束性預金の預入による支出	—	△5,282,800
有形固定資産の取得による支出	△205,535	△201,770
無形資産の取得による支出	△1,198,103	△1,696,021
投資有価証券の取得による支出	△102,954	△454,557
投資有価証券の売却による収入	489,922	24,360,517
持分法で会計処理されている投資の取 得による支出	—	△500,000
投資事業組合からの分配による収入	136,132	286,573
関係会社預け金の預入による支出	△2,000,000	△16,500,000
関係会社預け金の払戻による収入	5,000,000	2,000,000
その他の金融資産の取得による支出	△158	△30,894
その他の金融資産の売却による収入	700,555	7,561
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取 得による支出	△108,566	—
その他	△14,993	△212,293
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,696,297	1,776,315

(単位：千円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		—	6,300,000
長期借入金の返済による支出		△602,055	△158,515
社債の発行による収入		21,057,055	—
配当金の支払額		△3,825,963	△4,471,420
非支配株主への配当金の支払額		△63,493	△89,232
非支配持分からの払込による収入		122,413	25,080
その他		△532,735	△518,113
財務活動によるキャッシュ・フロー		16,155,221	1,087,798
現金及び現金同等物に係る換算差額		77,129	1,186,453
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		9,877,935	12,642,302
現金及び現金同等物の期首残高	①	95,830,807	104,523,965
現金及び現金同等物の四半期末残高	①	105,708,743	117,166,267

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

① 現金及び現金同等物

現金及び現金同等物の内訳は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
現金及び預金	81,593,965	112,286,267
関係会社預け金	22,930,000	4,880,000
合計	104,523,965	117,166,267

② 営業債権及びその他の債権

営業債権及びその他の債権の内訳は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
売掛金	5,740,246	6,266,445
営業貸付金	8,846,384	9,914,383
その他	92,408	159,134
貸倒引当金	△139,464	△158,910
合計	14,539,574	16,181,053
流動資産	10,308,474	12,794,597
非流動資産	4,231,100	3,386,455
合計	14,539,574	16,181,053

③ 関係会社預け金

関係会社預け金はGM0インターネットグループのCMSによる預け金です。